

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 中坪 清美

- 1 日時 令和5年10月20日（金）第5校時
- 2 学年 第6学年1組 34名
- 3 単元名 守ろう伝えよう！海田の町 ～西国街道の伝統を守り、み力を発信しよう～

4 単元目標

探究のサイクル1

○外国の人も関心を向ける「西国街道」の魅力とは何なのかを探ろう。

探究のサイクル2

○「西国街道」の魅力を、ガイドをして伝えよう。

探究のサイクル3

○海田の良さを発信するために、自分達にできることを実行しよう。

5 単元について

(1) 教材について

本校校区は歴史資源の豊かな町である。校区内には西国街道が通り、大阪と下関を結ぶ宿駅の一つとして発展した歴史がある。御茶屋跡、脇本陣跡からも当時の発展の様子が想像でき、千葉家や三宅家は戦火を逃れ今なお現存し、平成23年からは「西国街道・海田市ガイドの会」によるガイドツアーも開かれ、歴史や文化を学びに多くの人が訪れている。また、地域の方がその町並や景観を大切に守り、ガイドツアーはボランティアの方によって支えられている。

児童がそうした町の歴史を調べ、町の魅力を発信する活動に取り組むことは、自分たちの住む地域を誇りに思い、ふるさとを守り、さらに発展させていこうとする意欲につながるものと考えられる。また、町の人たちの思いに触れることで、能動的に地域とつながり自己の生き方について考える態度を養うことができる。と考える。

毎日目に触れることのできる身近な歴史を教材とすることで、探求のサイクルをスパイラルに回転させながら知識を広げ、自分とは考えや立場の違う人と接する中で、コミュニケーション能力を育み、自己の在り方について深く考える態度も期待される。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、これまでに海田町の地域について課題を見付け、解決する学習を重ねてきた。5年生では「食文化」をテーマに郷土食を広める活動を行った経験があり、郷土に対する愛着を高めた。

6年生年度当初のアンケートからは、地域のことが好きだと97%の児童が思っており、地域の文化や歴史についてもっと知りたいと思っている児童は73%だった。しかし一方で、「地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えることがありますか」という問いに対しては、肯定的に捉えた児童は45%に留まっており、地域の中の自分について考えたり実際に行動したりしている児童は少ないという実態も明らかになった。

また、自分で情報を集め、整理することができると感じている児童は88%であるが、調べたことを進んで発表することができると感じている児童は47%で、他者とコミュニケーションを図りながら、積極的に考えを発表することについては、苦手意識が高い。

これは、自分の考えに自信が持てず恥ずかしがる児童が多いことや、異なる意見をすり合わせながらよりよい解決方法を導き出す楽しさの経験が乏しいことが、理由として考えられる。

(3) 指導について

本中学校区で育成したい資質・能力は、次の3点である。これらを育むために、本単元では、次のような手立てを行う。

資質・能力	手立て
主体性	校区内の身近な「西国街道」の歴史を教材とし、魅力を発信する相手意識を明確にし、自ら見付けた課題に対して取り組む探求のサイクルを繰り返すことを通して、一人一人の児童の願いや興味・関心が生かされる主体的な学びを促す。
コミュニケーション力	振り返りで表出される個々のよさを多く取り上げることで自信を持たせ、次の学びにつなげるようにする。グループ活動での目的を明確にし、思考ツールを活用しながら焦点化を図ることで、どの児童も話合いに参加できるようにする。さらに、協働して活動し、様々な対象者に積極的に関わることができるようにする。
メタ認知	毎時の学習の振り返りで自己評価を行う時間を設定する。その際、プロセスにも注目させたり、観点を明確に提示したりして、自分自身の成長を実感し、振り返りの意味を実感できるようにする。

6 評価規準及びルーブリック

(1) 評価規準

評価の観点		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
<p>ア 地域の歴史や文化、その地域を愛する人々の工夫や努力、思いが分かる。</p> <p>イ 地域の魅力発信という課題の実現に向かうためには、人や組織と目的を共有して取り組むことが必要であることを理解している。</p> <p>ウ 地域に対する見方と自己の考えの広がり、探究的に学習していることの成果であることに気付いている。</p>	<p>ア 西国街道の伝統を守り、魅力を発信するというテーマについて、課題意識を持ち、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究している。</p> <p>イ 海田の歴史や、それを守り伝える人々の努力や工夫や魅力発信の方法について、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。</p> <p>ウ 整理した情報を比較・分類したり、多面的・多角的に考察したりして、「西国街道の魅力発信」への解決に向けて考えている。</p> <p>エ 「西国街道の魅力発信」に向け、相手や目的、意図に応じ、発信の仕方を検討し、工夫して表現している。</p>	<p>ア 探求活動を通して、毎時間学びを振り返り、自ら設定した課題の価値や協働して学ぶ良さに気付き、自分の意思で探究的な活動に取り組んでいる。</p> <p>イ 「西国街道の魅力発信」に向け、自分なりの考えをもち、異なる意見や他者の考えを尊重しながら、協働して学び合っている。</p> <p>ウ 地域と共によりよく生きるために、学んだことを自己の生き方とつなげて振り返り、実社会の問題の解決に取り組もうとしている。</p>

(2) 探究のサイクル②におけるルーブリック

資質・能力			B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
知識・技能	メタ認知	ア ウ	異なる視点を取り入れるよさ、他者と協働して活動に取り組むよさに気付き、自分自身の成長が分かる。	物事を多面的・多角的に捉えるよさ、他者と協働して活動に取り組むよさに気付き、自分自身の成長が分かり自己の生き方につなげて考えることができる。
思考・判断・表現	コミュニケーション力	ウ エ	整理した情報を比較・分類して、目的や意図に応じて考察し、工夫して表現している。	整理した情報を比較・分類して、目的や意図に応じて多面的・多角的に考察し、よりよい工夫をしながら表現している。
主体的に学習に取り組む態度	主体性	イ	自分なりの方法を考えて探究活動に取り組んでいる。また、他者と協働して学び合っている。	課題意識を持って、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。また、課題解決に向けて、他者と協働して学び合っている。

7 指導と評価の計画（全45時間）

*別紙1：「単元構想図」参照

8 本時の展開

本時の目標 ガイドツアーボランティア、魅力作り推進課の方、海田町外に住む卒業生のお話を聞き、ガイドツアーの内容や方法について多角的視点を取り入れながら話し合うことを通して、主体的に「西国街道の魅力発信」という課題を解決しようとする態度を育てる。		
学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1 前時の振り返りから本時の学習活動を確認し、本時のめあてを設定する。	○前時までの活動を想起させ、児童がガイドツアーを楽しみにしている思いを受け止め賞賛する。さらに、自己満足で終わらないよう、異なる立場の人からのアドバイスを求める児童の意見に注目させ、課題の必要性を感じさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> めあて 様々な立場の人の話を聞き、ガイドツアーの発表に生かそう。 </div>		
2 動画メッセージを視聴し、感想を話し合う。 ・西国街道ガイドツアーボランティアの方 ・海田町役場魅力づくり推進課の方 ・海田町出身で町外在住経験のある方	○事前に児童の活動内容について伝え、それぞれの立場から、児童へのメッセージを伝えてもらう。 〈メッセージの内容例〉 ・史実だけでなく、自分の感動を伝えることの大切さ。 ・海田町民のおもてなし精神の気質 ・ふるさとを誇りに思う気持ち ○自分たちにはなかった考え方や、ガイドの中に取り入れてみたい視点について全体で話し合わせる。	【③ーイ】 (ジャムボード・ワークシート・発言分析)
3 ジャムボードを使い、ガイドの内容や方法について、グループで検討する。	○3人のメッセージを3色で分けし、ジャムボードにも3色で色分けしながらガイドの工夫について、付箋を貼らせる。 ○「考えを広げる話合いの仕方」を提示し、話合いの仕方を確認させる。	
4 全体で交流する。	○電子黒板に各班のジャムボードを映し、他のグループの工夫について、全体で共有させる。	
5 本時の学習を振り返り、次時の学習活動を確認する。	○振り返りの視点、「ホップ・ステップ・ジャンプ」の中から、選択して振り返らせる。 ○物事を立場の違いを生かして、多角的に捉えるよさに気付いている児童の振り返りを紹介し、次時の活動への意欲につなげさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ホップ：なるほどと思ったこと。 ステップ：理由や根拠。まねしたい考えや方法。 ジャンプ：学ぶ前との変化。次の学びにどう生かすか。 </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 振り返り 授業の前は、もう準備はできたのでガイドができると思っていたが、3人の方のお話を聞いて、自分のガイドには、千葉家のことが好きだという気持ちや海田町を誇りに思う気持ちが伝えきれていないと気付いた。いろんな立場の人の意見を聞くことの大切さが分かった。ツアーに参加してくれる人に、その思いがちゃんと伝わるように、原稿を見直して工夫していきたい。 </div>		

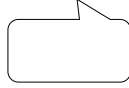
9 板書計画

めあて 様々な立場の人の話を聞き、ガイドツアーの発表に生かそう。

西国街道ガイドツアーボランティア
〇〇さん

魅力作り推進課
〇〇さん

海田町出身で町外
在住経験のある方
〇〇さん



- 自分たちにはなかった考え方
- ガイドの中に取り入れてみたい視点
- ・
- ・
- ・

自分たちの発表 (〇班)

考えを広げる話し
合いの仕方

電子黒板
(ジャムボードなど)

ふりかえり

ホップ：なるほどと思ったこと。
ステップ：理由や根拠。まねしたい考えや方法。
ジャンプ：学ぶ前との変化。次の学びにどう生かすか。